文化財 古民家めぐり

板橋区

きゅうたなかけじゅうたく 旧田中家住宅

板橋区指定有形文化財（建造物）

旧田中家住宅は、江戸時代中期、徳丸本村に建てられた武蔵野の面影を残す農村集落の古民家です。旧田中家は典型的な茅葺屋根の寄棟造りで、間取りはデイ（表座敷）、ザシキ（奥座敷）、ヘヤと呼ばれたナンド（納戸）、板張りのオカッテ（お勝手）が田の字に配置されています。そして、広い土間が設けられ、仕事の場と暮らしの場が一体となった江戸時代以来の農家の建築様式となっています。敷地は、現在緑道になっている旧前谷津川を南に見下ろす日当たりの良い緩斜面で、住むにも農作業にも最適の場所でした。

現在は板橋区立郷土資料館の敷地内に移築・一般公開され、板橋の歴史や古建築を知る上で貴重な存在となっています。

屋内のようす

かまど